

会報

TUWV
OB会

国立公園管理事務所便り

私もとうとう一息をきいて嫁さんもらおうかと珍しく忙しくなりました。今、拓哉大先輩よりワンゲルでドッベツてさんぐ山を荒し回ったあけく就職後もあきすに山を荒すを職として遊が回るとる馬鹿はオメエぐらいたから何か書けとの矢のさいそくに、とうとう負けて書いておきます。

私昭和49年に環境庁に入り、昨年からは夏は尾瀬、冬は日光にもどって大活躍中です。環境庁というところは、官房四局といひまして官房が大臣側近事務、企画調整局が他省間交渉、大気保全局及び水質保全局がいわゆる公害屋で山を登れるのは我が自然保護局だけというシステムになっています。この山登り屋をNational Park Rangersと呼んでおります。仕事といひますと自然公園法に基づく許認可事務、国有財産管理利用者指導及び巡視というたてまえ

ですが、山向へき地に存在することにより一義がありまして道路問題や大規模開発に対する地元での裏工作が主であとは尾瀬近辺の山々に遊び歩いてあります。ちなみに昨年の山行日数は100日強、燧10回、至仏10回、会津駒込鬼怒、景鶴、荷鞍、アヤメ平等の尾瀬周辺、草津近辺、北アルプスというのが主な所でありまます。

地元とのくされ縁が生じるとますいため、一度3年で転勤で北は利尻、知床から南は沖繩の西表島まで可能性があります。きわめてワンゲル、山岳部出身者が多く、東北大関係が二番目、というのには農学部や工学部に造園講座がないためであります。うが東北大出身者はみる独学が入っておりまして最近はこのようなる人種が増加の傾向にありますので、馬鹿の後輩が入ってきてくれればと考えています。

諸外国でも有名な山はほとんど国立公園でして我々とコネクトのあるRangerさん駐在しており新婚旅行にはRegent Star Mt. Fujiであります。このHawaii島Mauna Loaに行つてくるつもりです。皆様、そのうち金をためてボルネオ島のMt. Kinabaluやアフリカのキリマンジャロなどに行きませう。

た。オニ報は産む将来に出ますので御愛読下さい。昨年11月同期の野家氏の結婚式で会ったロクヤ先生は妙に白髪が増えておられました。今年5月10月は尾瀬沼長蔵山屋傍に住んでいませう。お正月にお出掛けの際はお立寄下さい。ただし若干のLinsenとアルコホルを携帯しつつ

— 薄木三生(10期) —

事務局便り

○横浜で毎月一回集まっています。ヒマな方は是非来て下さい。場所は横浜駅東口スカイビル地下「カプリ」オニ水曜日午後七時です。

○OB会費の振込みはどの銀行からでもできます。オニ勧業銀行川崎支店「188-1604」(普通口座)へ。

50年度決算

収入		
前年度繰越	128,090	
OB会費	163,000	
利息	5,816	
計	296,906	
支出		
会報4号	9,300	
会報5号	10,500	
その他通信費	1,260	
次期繰越	275,846	
計	296,906	

学年めぐりー6期

中味の濃さとか、その後の影響者とかいったことを校報にして、量的にだけ言えば我々が共に過した二倍、半10年の校報が卒業後過ぎてしまっている。

その間、毎月のように顔を合わせている仲間もいれば、卒業以来、全く連絡のつかない仲間も居た。定期的な連絡方法はOJ会の催しに参加する程度の消極的な学年であるので、その辺を少しサポートしたりしていると、「生死さえもさだめてはない状態になってしまおう。」

これではいかん、と在京のメンバーが世話後として、全員の生死確認のため10周年記念行事を企画した。少々時間はかかったが、半年がかりのアンケート、生活状態調査も奇跡的にまとまり、本年10月、仙台付近の適当な場所で開催ー卒業会ーとつないだ「TUWV 6期生、卒業10周年記念同期会(仮称)」開催の運びとなった。北海道は帯広から、岡山、総社市迄、全国に散らばった元仲間も、流石というか、相変わらずというか、殆んどが積極的な参加の意をみせており、初めはオッサンビョウリだった世話役一同も今ではキキとして準備を進めている。

さて、その首尾や如何?。それは次回OJ会報で、誰かに報告していただく。

—渡辺文隆(6期)—

近況報告

二口峠のニコラスを見てびっくりしています。土建ヤの悲しさで休日が少く、最近山へは行っていません。ゴルフバッグをかついで山へ行くのが奥の山、それもまだ100を切っていないのです。から、たいしたことありません。2年半前に広島市の女性と結婚し、子供ができて一年、すっかり広島の人間になってしまいました。今は「カープーカープー」で大変です。(これは去年の9月のかき)福山での新幹線工事も終り、広島市に転勤になり、現在は下水処理場の工事です。

真尾征雄(7)

私は卒業以来山の才は全この御無沙汰で、専らサッカー一筋といったところで、昨年か、会社のチームの監督として、一時試合やら慮さかっっておりすが、最近になり、若い人のファイトが足りないことを痛切に感じ、また試合に出まつかなどと同じっています。これも「ワンゲル

精神のためと信じています。相沢宏保(5)

田心いもよらぬ北京の夏を過したため、夏山のスケジュールが狂ってしまった。中内保から会津駒ヶ原へ登っただけに終りました。今年山行日数すでに30日、ワンゲル時代と変らぬペースで我ながら不思議に思っています。10月の連休はすでに予定が決まっていますので、残念ながらOJ山行には参加出来ません。

島崎質(4)

7月に長女誕生、ついに父親になりました。毎日子守に明け暮れています。名前が「晴美」です。一才の誕生日が来たら山登りに連れて行くかと思っっている。

片野雅至(9)

二口の山にはいろいろな思い出があるので、いつか又行ってみたいと思っただけです。当時と大きく変わってしまったというところは残念な気がします。神戸に来てからは、夏に新潟に帰省して、少し山に行く以外はほとんど山に行っていない。都会生活も定着してくると、結婚なども、旅や登山もさながらの修徳自適の生活かしてみたい気がします。田中康則(10)

秋の上越国境

— O B 山行 —

シユラフをかついで山に登るのは何年ぶりだったろう。会社では登山部とやらいうクラブに籍をおいてチヨコく出かけてはいるがその山行たるや、サナに食いのど飲みものをつめて小屋泊りでのんびり……といったものも、ともこれに私にあっているんでしようネ。

そこへ O B 山行の話があったので参加してみました。準備その他一切を拓我氏にお願いして、私が自分でやったことと言えは歩いたことくらいでした。

ケイフリで天神平まで登り、肩の小屋に着いた頃には、初冬を思わせる冷い風が雲を運んでいました。稜線に立つと上州側にきれいなブロッケンが見えました。左右に歩いてみたり、手を振ってみたり、カメラを向けたり、写真の出まはますく、で、会社の写真部の連中がちやみと興味を示したもので、肩の小屋は満員で後から来る登山者を断る程、結局オジカ沢の頭までということにしました。このコースは私が一年の時の夏合宿で歩いたコースです。荷入れ後の重いザックで歩いたせいか、毛漕乗越エビス大黒の頭あたりを除いてはあまり当時の記憶が残っていません

でした。

オジカ沢の頭で、小原(4期)、中里(8期)西氏と一緒になり、電車の中で合流した雨宮氏(2期)と計5名がツエルトにもぐって山上で一泊。

翌日、少ない氷をやりくりして朝食。あまりはつきりない天気の中を平標に向って出発。丈の低いウマザサの中の一木道は眺めもよく、広々とした感じに気持ちよい。姐岩の「黄葉」が印象に残っている。

エビス大黒のヤセ屋根はかつての夏合宿の印象そのまま。そういえば所々にあるマツタラシの古い道標もあったナ。

風が冷たく、こんな所でミゾレにでもあったら、たまらないだろうナ。などと言いつつ、合宿ペースで平標に。しかし、この寒さの中で昼寝をしながら、この寒さの中で昼寝をしながら、通りかかった登山者に、遭難者と間違われた人がいたそうぞ、石野(9期)だったナ。

平標、小屋も連休で混雑しているのだ、とりあえず三日目(8期)、石野雨氏を待って、少し下った沢の合合いでビバークすることにしました。4本のポールで4ヶのツルトを張るといふ芸当をやったのけたのです。皆多少疲れれた表情、それにしても

一式背負って稜線まで二回登った三日目氏のフェイスにはただ驚くばかりです。

タキ火をしてメシを作り……。下山した安堵感と歩いた充実感。みたいなものもあって、ちよっとした集中地ムードでした。そこで命をいして、老人訓練合宿。

— 大木芽正(9期) —

住所を教えてください！

名簿を配布したいと思っておりますが、住所の不明な人が多く困っています。左記の人の住所を教えてください。

- ト部 弘美 (2) 江端 正直 (2)
- 鈴木 延明 (2) 川崎 鉄治 (2)
- 佐藤 和子 (旧姓 増子 2)
- 飯島 碩 (3) 生駒 勉 (3)
- 大津 満 (3) 小侯 勝男 (3)
- 田中 庸義 (3) 横山 洋 (3)
- 広瀬 允郎 (3) 伊勢 衛 (4)
- 肉川 利男 (4) 西野 寿雄 (4)
- 大塚 浩司 (5) 三宅 健一 (5)
- 森 功雄 (5) 斎藤 寿 (6)
- 石川 誠之 (7) 京極 芳夫 (9)
- 浅野 孝夫 (旧姓 坂田 10)

初夏のピクニックのお知らせ!!

毎年秋に行なっております。OBI山行に加えて、今年は家族連れ
のパーティーを企画してみました。ぜひ、お子様連れ、恋人同伴で参加
して下さい。場所は西丹沢の静かな河原、たき火を囲んでバーベ
キューを。大滝沢のバス停のすぐ近くの河原なので、お子様連れ
でも心配は無用です。

準備の都合上前も、連絡いただければ幸いです。オニキリと
飲み物持参の飛び入りも大歓迎です。

日時： 5月23日(日) 雨天中止

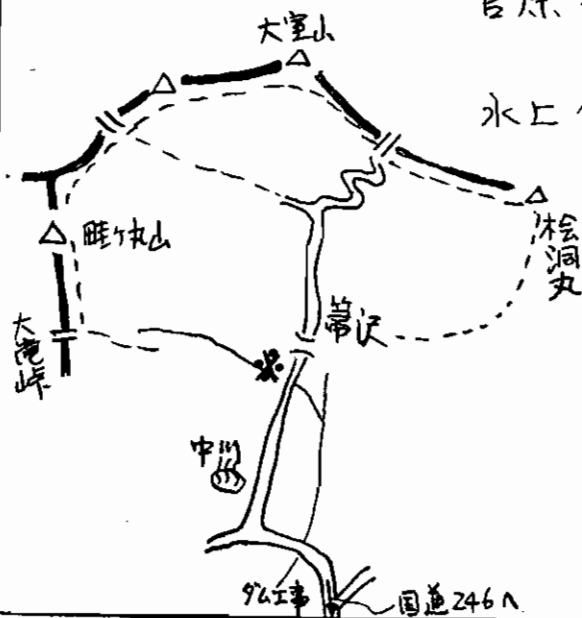
場所： 西丹沢 大滝沢の河原
(中川温泉より40分上流)

交通： 小田急線 新松田駅より 富士急バス
「箒沢」行き 大滝沢下車
又は
「中川温泉」行き 終末より歩いて40分
(中川郷までは車で迎えに出ます)

連絡先： 小原 佑一 自宅 045-363-8735
会社 045-822-5341
(味の素中央研究所 LL2)

菅原 英行 会社 045-881-1201
(日立電子サービス 勤務部)

水上 俊彦 会社 044-355-1111
(日本鋼管 原価管理課)



バス時刻表(新松田発)

6:05	箒沢行
7:10	中川温泉止り
8:10	箒沢行
9:10	中川温泉止り
10:45	→
11:55	箒沢行